

# MULPA

## Museum UnLearning Program for All

みんなで“まなびほぐす”美術館—社会を包む教育普及事業—

### 2023 年度マルパ研修会

博物館・美術館等の学芸員や職員を対象に、演劇を用いた多文化共生の取り組みについて理解を深めるための研修会を開催します。これからのミュージアム運営についてのヒントが見つかるかもしれません。ぜひご参加ください。

#### 多文化共生と演劇～その繋がりの可能性について～

2008 年から岐阜県可児市で開始した演劇による多文化共生の取り組みでは、外国人と日本人が言語・非言語を駆使して表現し、創作活動の中で対話を模索してきた経験から、“超多国籍都市”である東京で、同じ試みを展開し始めています。コロナ禍を経てどのような取組を行ってきたかについてご紹介します。

また、日本で暮らしている多言語・多文化につながりや関心をもつ高校生が、ありのままの自分を表現したり多様な人と関わったりする喜びを体感し、自信を深めていけるように、演劇やダンスを取り入れたさまざまな表現活動を通じて交流するプログラム：多言語・多文化交流「パフォーマンス合宿」についてもご紹介します。

日 時：2024 年 2 月 18 日（日）14:00～15:30（視聴サイト入室可能 13:30～）

形 式：オンライン（ZOOM ウェビナー）

講 師：田室 寿見子 氏  
（演劇ユニット Sin Titulo 主宰、東京芸術劇場人材育成担当係長）



参加費：無料 定 員：30 名

申込方法 下記 QR コードまたは [https://willap.jp/p/acc\\_4614/tabunka\\_mulpa/](https://willap.jp/p/acc_4614/tabunka_mulpa/)よりお申込みください。メールでのお申込みは、タイトルを「マルパ研修会」として、本文に ①氏名、②電話番号、③メールアドレス、④お住まいの自治体（市区町村のみ）⑤ご所属（任意）をご記入いただき、メールアドレス（[mulpa@kifjp.org](mailto:mulpa@kifjp.org)）宛にお送り下さい。

申込締切 2024 年 2 月 14 日（水）

お問い合わせ 公益財団法人かながわ国際交流財団 マルパ担当（大塚）  
TEL 045-620-5045 E-mail [mulpa@kifjp.org](mailto:mulpa@kifjp.org)



## 登壇者の紹介

### 田室 寿見子 (たむろ すみこ)

演劇ユニット Sin Titulo 主宰、東京芸術劇場 人材育成担当係長

人種・言語・ジャンル等の枠組みを超えたパフォーマンス創作を目指し、2004年に Sin Titulo を設立。日本外国特派員協会などを拠点に上演。2008年に岐阜県の可児市文化創造センターの依頼により「多文化共生プロジェクト」を立ち上げ、総合ディレクターとして2012年まで製作。2014年より東京芸術劇場において人材育成・教育普及を担当、2021年より多文化共生事業を開始。

### 【開会あいさつ】

### 水沢 勉 (みずさわ つとむ)

マルパ実行委員会会長/神奈川県立近代美術館長

1952年横浜生まれ。慶應義塾大学で修士号を得る。ウィーン世紀末、特にエゴン・シーレを研究。1978年神奈川県立近代美術館の学芸員。2011年以後、同館館長を務める。モダニズムの多様性を世紀転換期以後の日本・ドイツ語圏の近現代芸術に探る展覧会などを企画。著作に『エゴン・シーレ まなざしの痛み』（東京美術、2022年）等。



### 【司会】

### 平井 宏典 (ひらい・ひろのり)

マルパ実行委員会幹事/和光大学経済経営学部教授

相模湾・三浦半島アートリンク (SaMAL) 幹事。和光大学経済経営学部教授、博士（経営学）。専門は、博物館経営、文化経営。神奈川県真鶴町出身。茅ヶ崎ゆかりの人物館経営アドバイザーをはじめ、公立ミュージアムの運営審議会等を務める。博物館を中心に、文化芸術の社会的役割、その効用の最大化を経営学/ビジネスの視点から研究している。



## 当日のスケジュール

14:00~15:30 (司会 平井 宏典氏)

1. 開会あいさつ 水沢 勉氏
2. 「演劇を用いた多文化共生の試み」田室 寿見子氏  
質疑応答
3. 参加者との意見交換・質疑応答 ※3については時間延長の可能性がございます。